



## 東地中海地域ニュース

### イラン情勢(19)：保守強硬派内の亀裂、人事混乱、権力争いの様相

研究員 山崎 和美

アフマディーネジャード大統領による人事をめぐり、保守強硬派内の亀裂が深刻化している。

同大統領が親族であるマシャーイー副大統領を筆頭(第一)副大統領に任命したことに對し、保守強硬派の国会議員が解任を求め、最高指導者ハーメネイー師も解任を命じた。アフマディーネジャード大統領は当初これに抵抗していたが、結局マシャーイー氏を解任した。しかしその後、アフマディーネジャード大統領は情報相を解任し、文化・イスラム教育相も解任されたと言われている。これらは同大統領による報復人事と見られる。結果、同大統領は11人の閣僚を解任したと見られ、混乱が収まる見込みはない。

#### 内政

**マーシャーイー副大統領の任免劇**(24日付AP通信、毎日新聞。25日時事通信、米CNN放送、毎日新聞、産経新聞。26日、AFP通信。27日NHK及びアルジャジーラ放送、読売新聞、産経新聞)

16日、アフマディーネジャード大統領は、マシャーイー副大統領を12人の副大統領の筆頭に昇格させた。マシャーイー氏は昨年、「イスラエル国民はイランの友人」と発言し、保守系聖職者から非難を浴びた。反イスラエルは革命体制の「国是」であり、解任騒ぎにもなったが、大統領はイスラエル敵視発言を繰り返しているにもかかわらず、同氏を擁護した。同大統領の息子とマシャーイー氏の娘が結婚して両者は親類関係にあり、人事への反発には「身内重用」への批判も込められている。

筆頭副大統領は大統領不在時に代行を担う要職である。イラン学生通信によると、今回の人事に對し、大統領支持派の多くの政治家や聖職者が反発した。国会のアブトラビー・ファルド副議長は21日、マシャーイー氏の即時解任を求め、「これは体制の戦略的決定だ」と迫った。

国営イラン通信によると大統領は「マーシャーイー氏は革命の忠実なしもべであり、昇格には1000もの理由がある」と反発した。22日のファールス通信によると、ハーメネイー師は大統領へ書簡を送り、政府の利益に反するとして第1副大統領の人事を撤回するよう求めていたが、大統領は「説明する機会が必要だ」として抵抗していた。

24日、ファールス通信は、マシャーイー氏が筆頭副大統領を辞任したことを伝えた。ハーメネイー師の命令に従ったとしている。

26日、メフル通信はアフマディーネジャード大統領がモフセニー・エジェイー情報相を解任したと通じた。同通信によると、モフセニー・エジェイー情報相は22日の閣議で、25日に辞任したマシャーイー第1副大統領任命問題で大統領と口論になったとしている。

同通信は、サッフアール・ハーランディー文化・イスラム指導相、ジャフロミー労働・社会問題相、バーゲリー・ランキラーニー保健相も更迭されたと報じたが、大統領府はこの報道を否定した。大統領は8月初めに2期目の就任宣誓を行う予定だが、現時点

での閣僚更迭が組閣と関係あるのかどうかは明らかではない。

### **アーガーザデ原子力庁長官の辞任(18日付朝日新聞)**

16日 国営のイラン学生通信は、同国の核開発計画の責任者であるレザー・アーガーザデ副大統領兼原子力庁長官が両職務を辞任した、と発表した。

17日、アフマディーネジャード大統領は、新原子力庁長官にアリー・アクバル・サーレヒー前ウィーン国連代表部大使を指名。サーレヒー氏はウラン濃縮活動を一時停止し、国際原子力機関(IAEA)の抜き打ち査察を認める追加議定書に署名したハータミー前政権でIAEA担当大使を務めた。イランはその後、追加議定書の履行を停止している。

### **ムーサヴィー氏義弟の拘束(23日付AFP通信、24日付米CNN)**

イラン大統領選で敗退した改革派のムーサヴィー元首相の妻ザフラー・ラフナヴァルドさんは23日、自身の弟で米国永住権を持つエスファンディヤール・ラヒーム・カーゼミー氏(62)が当局に拘束されていることを明らかにしたと、同国のアフターブ通信に語った。

ラフナヴァルドさんによると、同氏が拘束されたのは1カ月前で、家族らは法的な手段を通して釈放を求めるため、これまで拘束の事実を公表していなかった。同氏は通信技術のエンジニアで、仕事や妻の病気治療のため米国との間を行き来していたという。

### **改革派キャッルービー元国会議長：治安機関を批判(26日付毎日新聞)**

改革派大統領候補だったキャッルービー元国会議長は25日までに、「治安機関はシオニスト政権(イスラエル)よりひどい」との表現で、暴力的な取り締まりなどを非難した。反イスラエルを国是とするイランの要人が、イスラエルと比べて当局を批判するのは異例。

キャッルービー氏はモフセニー・エジェイー情報相への書簡をウェブサイト上で公開した。改革派中心の抗議行動への暴力的な取り締まりや、拘置中の逮捕者の扱いを厳しく批判し、「特に女性に街頭で平気で警棒を振るうのは、(イスラエル占領下にある)パレスチナでのシオニストよりひどい」と酷評した。

キャッルービー氏の発言は、24日、刑務所に拘置中の男性が死亡したとの情報を受けたもの。大統領選以来約2500人が逮捕され、うち500人以上が今も拘束されていると見られている。

### **ラフサンジャーニー元大統領：政権の弾圧は逆効果と警告(26日付毎日新聞)**

体制の重鎮ラフサンジャーニー元大統領は自らのウェブ上で、革命前に反王制活動を理由に投獄された経験に言及した。秘密警察が報告書で「投獄はラフサンジャーニーを黙らせることに失敗した。むしろ彼の活動を勢いづかせた」と書いたと紹介し、保守強硬派アフマディーネジャード政権による弾圧も逆効果になると警告した。

### **改革派ヌーリー元内相：政府の対応がイスラム革命と同様の事態を招くと示唆(26日付毎日新聞)**

改革派のヌーリー元内相はウェブ上で、革命で追放された元国王と、アフマディーネジャード大統領を支持する最高指導者ハーメネイー師を比較し「(当時の)限定的な闘争

が国王追放につながるとは誰も想像しなかった」と述べた。現在の抗議活動も同様の事態の端緒になり得る、との可能性を示唆した形である。

### **ムーサヴィー元首相：騒乱死者の追悼式を計画(27日米 CNN 放送)**

先月のイラン大統領選で敗れた改革派のムーサヴィー元首相は26日、選挙後の騒乱で死亡した人々の追悼式を営むため、同じく落選したキャッルービー元国会議長とともに許可を申請していることを明らかにした。ムーサヴィー氏のウェブサイトによると、同氏とキャッルービー氏は追悼式の開催許可を求めて、内務当局者に書簡を送ったという。計画によると、追悼式は30日に金曜礼拝の会場で営む。この日は大統領選の結果をめぐる抗議デモから40日目で、イスラム教シーア派の服喪期間の最終日にあたる。式はコーランの朗唱のみで、演説は行わない。参列者には、静かに死者を追悼するよう求める。

## **外政**

### **イラン拘束者の釈放求める集会、世界各地で開催**

26日の米 CNN 放送によれば、先月のイラン大統領選挙後に連日続いた改革派の抗議デモで、当局に拘束された何百人もの人々の釈放を要求する集会が25日、世界各国の約100都市で行われた。

集会の主催者はユナイテッド・フォー・イランで、ヒューマン・ライツ・ウォッチやアムネスティ・インターナショナル、国境なき記者団など複数の人権団体が支援した。2003年のノーベル平和賞受賞者であるイランの人権活動家シーリーン・エバーディー弁護士は、オランダの首都アムステルダムで演説し、祖国のために一致団結するよう呼び掛けた。

米国では今年イランで4カ月拘留され、無事釈放された米国人記者ロクサーナ・サーベリーさん(父がイラン人、母が日本人)は、米シカゴ市内の集会に出席し、言論を封殺されたイラン人のために、大勢の人々が声を上げていることの重要性を指摘した。ニューヨークでは市内中心部タイムズ・スクエアに参加者が集結し、国連本部まで行進した。参加者らはイラン改革派のシンボルカラーである緑色の旗やプラカードを掲げたり、緑色のリストバンドやシャツを着用していた。

集会はワシントン市内でも行われ、何百人ものイラン系米国人が国連情報センターから米連邦議会まで行進しながら、イラン国内の人権問題により積極的に取り組むよう国連に要求した。

また、英国のロンドン市内の集会は駐英イラン大使館前で開かれ、脅しと恐怖で抗議デモを再開できない状態にあるイラン人との連帯を呼び掛けた。独ベルリンの集会には約2000人が参加した。欧米各地を中心とする一部集会では、イランの人権侵害に対する抗議を強めるよう各国政府に促す動きが見られた。

---

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799